



常任委員会の審査報告

令和8年6月
定例会の概要

定例会審議結果

議案等質疑

常任委員会の
審査報告

一般質問

委員会
活動レポート

議会報告会開催報告

総務委員会

【条】 富士しゃくなげ湖水上
競技場条例の改正

【質問】 競技優先から多目的利用による中山間地域のにぎわいの創出拠点として、施設を活用できるようにするようだが、今後は、湖面利用に限らず、クラブハウスや駐車場だけでも利用できるのか。

【答弁】 駐車場でのキッチンカーの出店のほか、ダム堤体内の見学ツアーなどの利用が可能と考えている。指定管理者に自主事業として企画し、取り組んでももらいたいと考えている。



富士しゃくなげ湖水上競技場

委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第1号）（所管分）
- 一般会計補正予算（第2号）（所管分）
- 行政手続条例の改正
- 公民館条例の改正
- 富士しゃくなげ湖水上競技場条例の改正
- 消防団員等公務災害補償条例の改正
- 本庁舎（南棟）外壁改修外工事請負契約の一部変更
- 損害賠償の額の決定および和解

福祉生活委員会

【補】 高齢者等・非課税世帯
生活支援金支給事業

【質問】 高齢者等・非課税世帯の方が生活支援金を受け取るためには各自で申請が必要か。

【答弁】 生活支援金支給対象者のうち、マイナンバーの公金受取口座を登録している方については、支給に関する通知をした上で公金受取口座に振り込む。口座を登録していない方については、手続きに関するお知らせを送付し、必要事項を記入後に返送いただき、内容を確認して、振り込む手続きとなる。



前回の専用窓口の様子

委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第1号）（所管分）
- 一般会計補正予算（第2号）（所管分）
- 専決処分（市税条例の改正）
- 専決処分（国民健康保険税条例等の改正）

【質問】 前回と比べて給付費に対する事務費の割合が高いように思うが、その要因は。

【答弁】 支援金支給対象件数が多ければ、給付費が大きくなり、事務費の割合が低くなる。今回の支給対象件数は、7700件と前回より少ないため、給付費が小さくなっている。しかし、前回同様専用窓口の設置等にかかる委託料は支給対象件数に関わらず発生するため、前回と比べて事務費の割合が高くなっている。

【審査結果】 全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

教育環境委員会

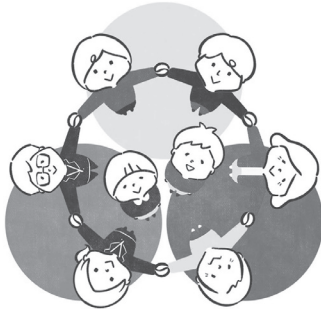
補 子育て共助推進事業

〔質問〕 子育て当事者同士をつなぐ
コーディネーターを発掘、育成する
とのことだが、登録者数を3年間で
90名との目標を達成するための策は
どのように考えているのか。

〔答弁〕 目標数は先行自治体を参考
に設定した。現在のファミリーサポ
ートの提供会員も含め、子育て支援
サークルや団体で活躍されている方、
また母子保健推進員等、広く声かけ
していきたい。

〔質問〕 専用アプリを導入する理由
は。

〔答弁〕 グループをつくるだけでなく、



思いやりをシェア。つながる、広がる、ホッとする。
みんなでこどもを育てるまちへ

子育て情報や譲り合いの情報など、
子育て共助のさまざまな情報を見え
る化し、共助の仕組みをアプリ上で
展開できるようにしたい。

〔質問〕 この事業を本市で取り組み
たいと考えた理由は。

〔答弁〕 先行事例では、マッチング数
は多くはないものの、実際の共助に
つながった良い事例と考えた。いざ
というときに頼るところがある、頼
れる人がいる、そういう安心感が、
子育てへの大きな不安や負担感を減
らすことにつながると考えている。

〔審査結果〕 全ての議案について、
可決すべきものと決定。第42号議案
の子育て共助推進事業については、
附帯決議を付すことを賛成多数で決
定。

委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第1号）（所管分）
- 一般会計補正予算（第2号）（所管分）
- 久保田保健センター改修（建築）工事請
負契約の一部変更
- 財産の取得

産業建設委員会

補 次世代交通実証事業

〔質問〕 他の自治体が自動運転バス
から撤退している中、本市が先行し
て行う理由は。

〔答弁〕 今年度、国の補助要件が厳
格化されたこともあり、実証の経験
が浅い自治体などは、一旦実施を見
合わせた所もある。本市においては、
令和5年度から実証を積み上げてき
ており、令和9年度中のレベル4実
装を見据えることができる段階にき
ている。将来的な運転士不足に対応
するための一つの手段として、自動
運転という選択肢を準備しておくこ
とは必要な取り組みである。

〔質問〕 他の自治体でも、同様の事
業を実施しているとのことだが、技



自動運転バス実証運行時の様子

術的な成熟を待って、本市で実施す
るほうがコスト的にも有利ではない
か。

〔答弁〕 成熟した技術を使うことに
よるコストメリットは想定される
が、現場への適用には時間を要する
ため、すぐに自動運転を行うことは
難しいと思われる。

〔質問〕 この事業が成功した場合、
他の路線、例えば「ゆめタウン」線
などへの導入は考えているか。

〔答弁〕 まず、本路線で運行のモデ
ルを作っていきたいと考えている。
その後、採算性や導入のしやすさな
どで判断していきたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、
可決すべきものと決定。第60号議案
の次世代交通実証事業については、
附帯決議を付すことを全会一致で決
定。

委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第1号）（所管分）
- 一般会計補正予算（第2号）（所管分）
- 工業用水道事業会計補正予算（第1号）
- 自動車運送事業会計補正予算（第1号）
- 工場立地法準則条例
- 工場等立地奨励条例の改正
- 自動車運送事業の設置等に関する条例等
の改正
- 中小企業振興資金融資条例の改正
- 市道路線の廃止
- 市道路線の認定